

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県芦屋市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	芦屋市文化遺産継承・活性化事業			
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
5 実施計画の概要				
<p>芦屋市文化振興基本計画(平成24年策定)を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取り組みを実施する。また、実施計画期間中は、下記の取り組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>1. 芦屋のだんじり祭に使用する地車の修理及び修理状況の公開事業</p> <p>※芦屋市文化振興基本計画は、 URL(<a href="http://www.city.ashiya.lg.jp/gyousei/bunka/documents/bunkasinkoukihonkeikaku.pdf">http://www.city.ashiya.lg.jp/gyousei/bunka/documents/bunkasinkoukihonkeikaku.pdf</a>)のとおり。</p>				
6 実施体制				
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、以下の担当課が行う。 教育委員会社会教育部生涯学習課：事業全体に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 芦屋市文化遺産継承・活性化事業実行委員会(会長：大谷孝一) 構成団体(三條地車保存会、打出総代会地車保存会)</p>				
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額：	0 千円	平成29年度申請額： 5,978 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり		
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）				
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の力による地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体による連携・協力体制が構築される。</p>				
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）				
事業概要：				
事業概要：				
事業概要：				
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等				
<p>現在、具体的な計画案はない。</p>				
12 担当部局				
地方公共団体 担当部局課	芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課（文化財係）			

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	芦屋市内の地車保存会の会員数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 28 年度		250 (人)	⇒	平成 33 年度 250 (人)	
設定根拠 1 :	芦屋市内の地車保存会の会員数を, 平成28年度の人数を基準に現状維持で設定。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	芦屋のだんじり祭に使用する地車の修理及び修理状況の公開事業	実施団体：	芦屋市文化遺産継承・活性化事業実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 33 年度	
事業概要：	芦屋のだんじり祭に使用する地車が、老朽化により使用に支障をきたしているため、修理を実施する。 併せて、修理の状況を撮影し、地域住民に公開する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	芦屋市内の地車保存会の会員数					
目標値：	平成 28 年度	250 (人)	⇒	平成 33 年度	250 (人)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)